

I 次の2問題（I-1, I-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

I-1 次の4設問のうち1設問を選び、農村地域計画の視点から解答せよ。（解答設問番号を明記し、答案用紙3枚以内にまとめよ。）

I-1-1 今後の日本農業の持続的発展を図るためには、優良農地や担い手の確保が重要な課題となっている。特に、優良農地確保の課題と方策について、あなたの考えを述べよ。

I-1-2 農村地域は、人口減少や高齢化の進展により集落機能が低下し、農地や農業用排水路など地域資源の保全管理上の問題が発生している。

このため、集落機能の向上と地域資源を保全するための課題と方策について、あなたの考えを述べよ。

I-1-3 政策評価法に基づき土地改良事業の実施に当たっては、費用対効果分析が義務づけられている。費用対効果分析における総費用・総便益の算定において留意すべき事項について、あなたの考えを述べよ。

I-1-4 日本のODAは、近年、人材育成や制度構築などを中心にソフト面の支援が多くなっている。開発途上国への農業生産や生活改善等の技術支援を行う上で、支援国の現状や課題を踏まえた、農業・農村振興計画策定において留意すべき事項について、あなたの考えを述べよ。

I-2 次の9設問のうち、Aグループ（I-2-1～I-2-4）の中から1設問を、Bグループ（I-2-5～I-2-9）の中から1設問を選び、農村地域計画の視点からそれぞれ解答せよ。（設問ごとに答案用紙を替えて解答設問番号を明記し、指定の枚数以内にまとめよ。）

Aグループ … 答案用紙2枚以内にまとめよ。

I-2-1 我が国の農地の減少は、農地転用と耕作放棄地が大きな要因となっている。このうち、耕作放棄地の解消及び発生防止について、あなたの考えを具体的に述べよ。

I-2-2 農業者の高齢化が進むとともに、将来を担う農業経営者の育成は遅れ、農業後継者の確保は極めて不十分な状況にある。意欲ある多様な農業者の育成と確保について、あなたの考えを具体的に述べよ。

I-2-3 農業生産活動を行うことにより発揮されている多面的機能を維持・保全するための方策について、あなたの考えを具体的に述べよ。

I-2-4 安全・安心な農産物の供給・販売により農村地域の活性化を図るための課題と方策について、あなたの考えを具体的に述べよ。

Bグループ … 答案用紙1枚以内にまとめよ。

I-2-5 優良農地の維持・確保を図る観点から、農業振興地域制度の役割を述べよ。

I-2-6 環境保全型農業直接支払制度の内容を述べよ。

I-2-7 費用対効果分析で用いる支出済費用換算係数と社会的割引率について述べよ。

I-2-8 農村地域計画策定において、地域住民の参加方式の代表的事例を述べよ。

I-2-9 地産地消の推進が、地域農業及び農家に与える影響について述べよ。